

2029
2015
11/6

府職の友

発行所／大阪府関係職員労働組合
〒540-0008 大阪市中央区大手前2-1-59
電話 06(6941)0351・内線3740
直通06(6941)3079 FAX06(6941)4541
Eメール info@fusyokuro.gr.jp
URL/http://www.fusyokuro.gr.jp
発行人／有田 洋明 編集人／小松 康則
（一部10円）組合員の購読料は組合費に含まれています。

「対立」から
「協調」へ
府市統合ではなく
病院・医療の充実を！

病院機構当局 人事・給与改革

給与水準ダウン、調整額廃止を提案



府立病院の役割を発揮し、安心して元気に働きつづげられる職場と給与制度を

10月30日、府立病院機構当局は、府職労・病院労組に対し、「人事・給与制度等の改革（案）」を提案し、基本給表の級構成と標準職務を変更し、「年俸制」の導入や1職階1職務の級を基本にした昇給制度の再編、独法化前の「昇任を伴わない昇格」や「在職年数による一律昇格」の廃止、調整額の廃止・特勤手当化などを実施しようとしています。

当局は、提案理由として「職務と責任に応じた給与制度を構築し、がんばった職員が報われ、やる気を引き出す」「病院経営を取り巻く社会状況の変化に応じた給与体系に改め、将来にわたって持続可能な給与制度を構築する」「国立病院機構に準じた級別標準職務とし、病院組織の効率化と機動性を高める」などの理由を述べていますが、そのねらいは、①賃金水準を低下させ、人件費を抑制する、②設置団体である大阪府による「運営費負担金」のいっそうの削減と採算主義の押しつけ、③役職につかなければ昇級しない制度をつくり、もの言わぬ従順な職員づくりをすすめる、ということにあるのは明らかです。